

— 目 次 —

政策提言の概要	1
はじめに	2
第1章 観光地域づくりにむけた国と地域の取組み	2
1. 観光立国推進基本法	2
2. 国による施策と観光地域の取組み	2
(1) 文化財等の保存・活用	3
(2) 歴史まちづくりの推進	3
第2章 戦国時代ゆかりの地域資源と観光の現状	4
1. 観光客の観光目的と地域資源	4
2. 観光客の年齢層と観光戦略	4
3. 観光客の関心と大河ドラマ	5
(1) 観光客の戦国時代の歴史に対する関心の契機	5
(2) 博覧会等の開催の効果	6
第3章 戦国時代ゆかりの観光地域（モデルケース）	7
1. モデルケースの設定（伊賀市）	7
2. 伊賀市の概況	8
3. 歴史的な環境	9
4. 伊賀市における観光事業の現状	9
(1) 観光客数およびその傾向	9
(2) 集客イベントの実施内容	10
第4章 伊賀市観光地域づくり実践プラン	11
1. 将来像および施策	11
(1) 上野城（空間）	11
(2) 忍者（文化）	12
(3) 鍵屋の辻の決闘（絆）	12
(4) 藤堂高虎（心）	12
2. 推進計画期間	13
3. 施策の内容	13
施策1 上野城を起点とした観光地域づくり	13
施策2 自然体験を観光資源とした地域の形成	15
施策3 観光サービス・観光宣伝・情報提供機能の充実	16
施策4 国際観光の推進	19
施策5 地域の連携	19
施策6 他団体等との連携	20
施策7 シビックプライド・ホスピタリティの醸成	21
第5章 事業の展開	22
おわりに	28

戦国時代ゆかりの観光地域づくり

1 何故「戦国時代ゆかりの観光地域づくり」なのか

- 地域に残る城郭などの戦国時代の歴史資源 → 半永久的に不変な魅力ある地域資源
- これらの地域資源が観光振興に十分に活かしきれていない地域が散見
- 国は観光立国推進へ向け、文化財保護や歴史まちづくりを行う自治体を支援する動き

戦国時代ゆかりの地域資源が存在・潜在していながら
上手く活用できていない地域を活性化することが、政策立案研究の目的

2 戦国時代ゆかりの地域資源と観光の現状

- 国内旅行の目的は自然、歴史文化、特産物など地域資源と関連したものが多い
- 観光客は戦国時代の歴史資源に興味がある → 成功事例は長浜市

アンケート結果

メジャーな観光地域とはいえない三重県伊賀市をモデルケースとして設定！
伊賀流忍者の故郷、伊賀上野城(戦国武将 藤堂高虎)など地域資源が豊富

アンケート検証

3 伊賀市観光地域づくり実践プラン(H24～H33年度)

- 上野城を基点とした情緒ある景観と広大な自然が育むうるおいとやすらぎを提供
 - 施策1 上野城を基点とした観光地域づくり
 - 施策2 自然体験を観光資源とした地域づくり
- 忍者をはじめさまざまな戦国文化の風を国内外に発信
 - 施策3 観光サービス・観光宣伝・情報提供機能の充実
 - 施策4 国際観光の推進
- 地域が連携し協力しあい助け合いの心を提供
 - 施策5 地域の連携
 - 施策6 他団体等との連携
- 人が輝きおもてなしの心を持ったやさしさと触れ合える
 - 施策7 シビックプライド・ホスピタリティの醸成

4 事業の検証

- 実践プラン10年間における経済効果は53,381百万円、税込増2,135百万円の見込
- 地域の自然、歴史文化、産業への関心を高め様々な交流や活動を誘発

5 おわりに

地域の自然の中で地域の人々の心と技が創り出した地域の文化は世代間で継承され、地域に根付いた固有の地域資源となり、訪れる旅人を惹きつけ、持続可能な観光地域となる